

2022年3月期（2021年度） 第1四半期 決 算 説 明 資 料

2021年8月

JASDAQ : 3423



株式会社 **エスイー**

1. 2021年度第1四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

1. 2021年度第1四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

第1四半期連結決算実績サマリー（前年同期比）

サマリー

前年同期比～増収増益

建設用資機材の製造・販売事業の好調、各利益も全て大幅増加

（単位：百万円）

・売上高

- 国内の建設用資機材の製造・販売事業は好調を維持。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、建設用資機材の輸出、建築金物分野、建設コンサルタント事業は引続き苦戦。
- その結果、全体では前年同期比+664百万円の増収。

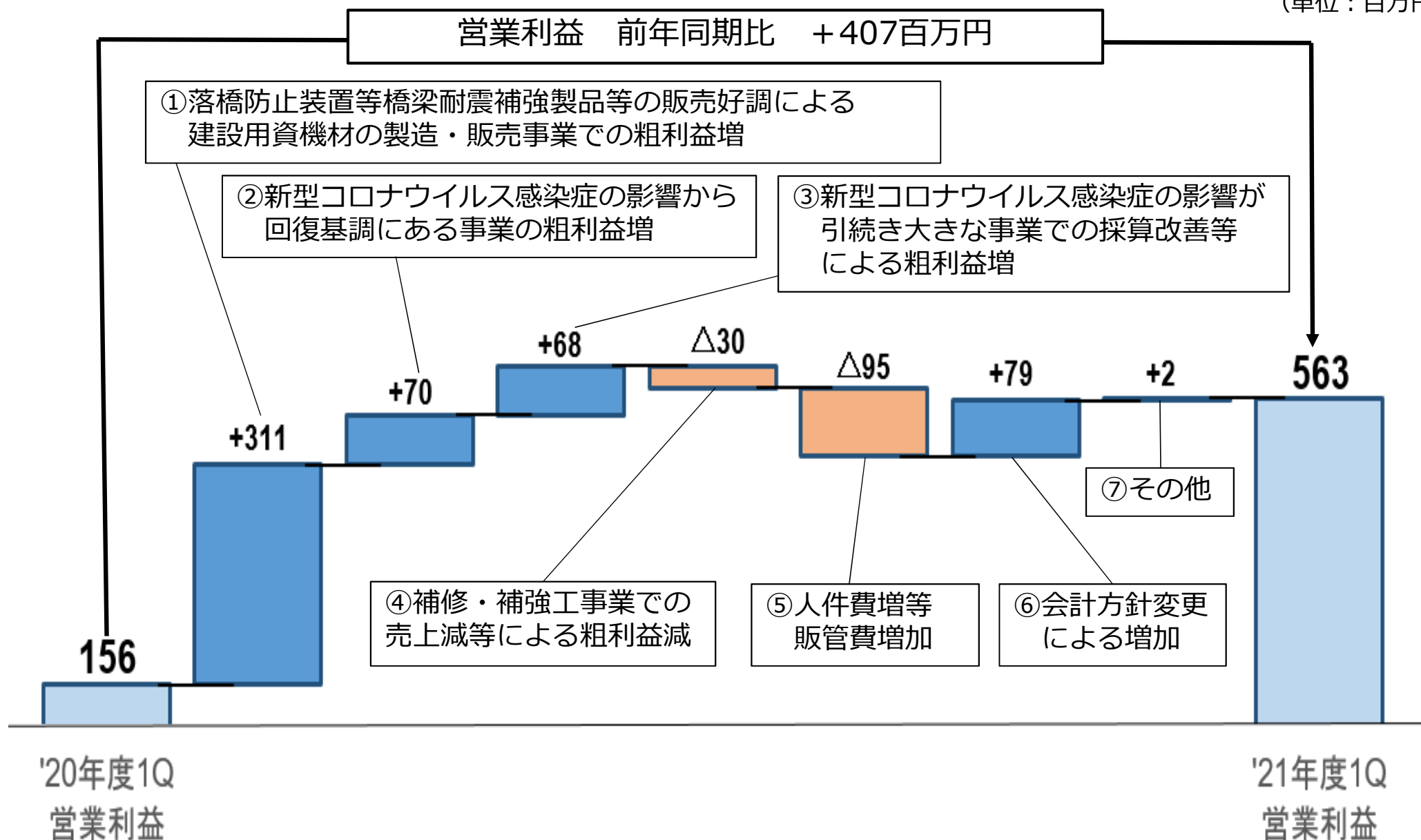
・利益

- 比較的利益率の高い建設資材の売上高が増加したこと、および既存製品の利益率改善に注力したことより、経常利益は前年同期比+336百万円（除く会計方針変更による増減）の大幅増益となった。

	2020年度 1Q	2021年度 1Q	増減 (増減率)	会計方針変更 による増減	左記以外
売上高	4,885	5,549	+664 (+13.6%)	+218	+445
営業利益 (対売上高比)	156 (3.2%)	563 (10.2%)	+407 (+260.5%) (+7.0%)	+79	+327
経常利益 (対売上高比)	161 (3.3%)	578 (10.4%)	+416 (+257.2%) (+7.1%)	+79	+336
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (対売上高比)	81 (1.7%)	358 (6.5%)	+277 (+341.3%) (+4.8%)	+52	+225

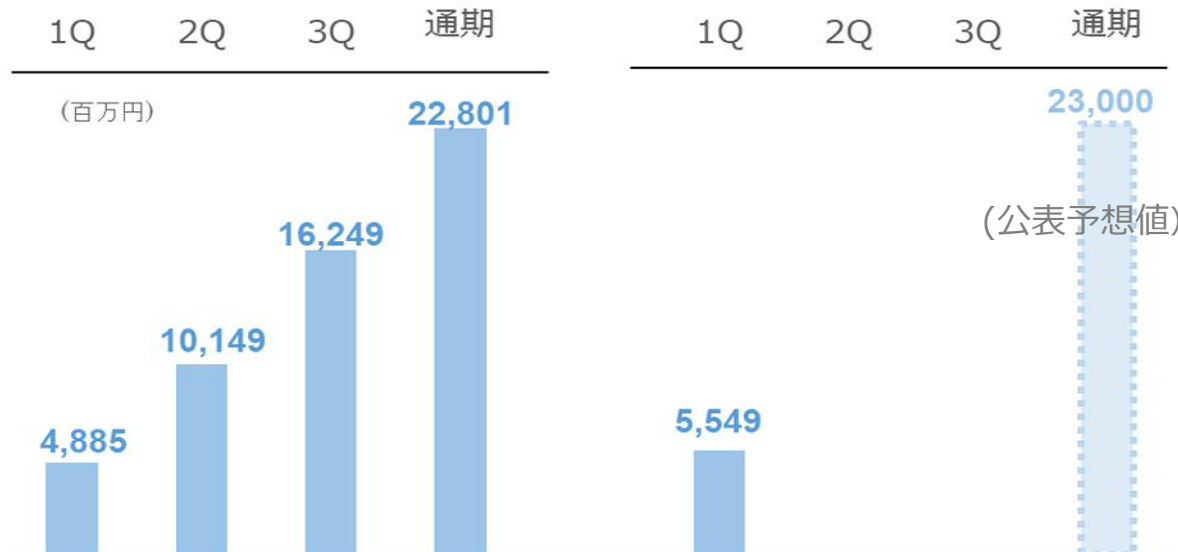
第1四半期連結決算実績サマリー（営業利益増減） 株式会社 エスイー

（単位：百万円）

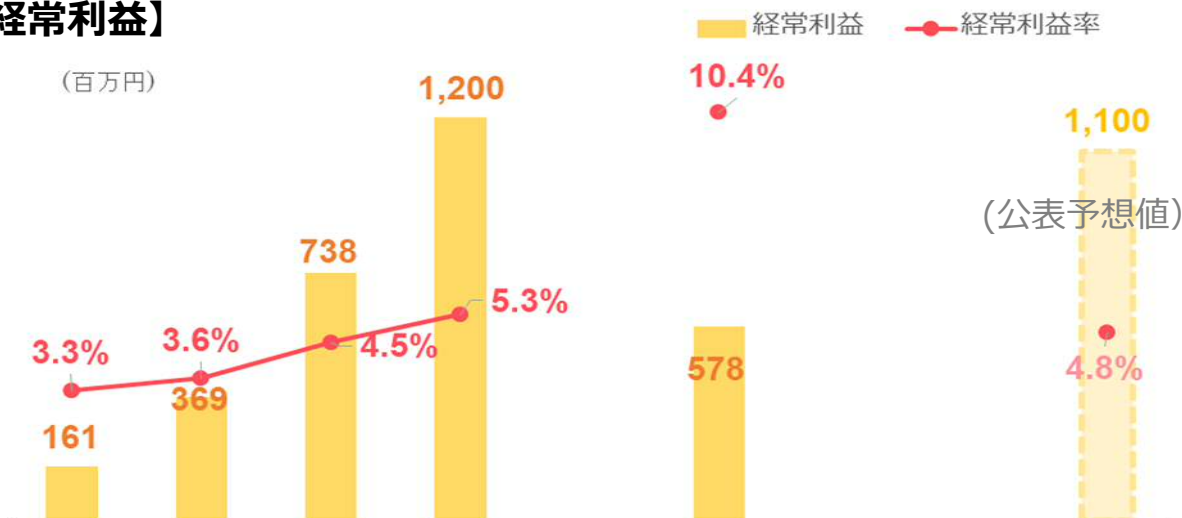


第1四半期連結決算実績サマリー(公表予想比)

【売上高】 '20年度（累計）



【経常利益】



・売上高

- 建設用資機材の落橋防止装置等橋梁耐震補強製品の販売が好調だったこと及び大型案件の納入が前倒しになったことより、1Qとしては非常に好調な滑り出し。
- 2Q以降は、1Qへ前倒しされた案件に続く案件の取り込み状況に左右される面もあり、進捗具合は1Qよりは平準化される可能性あり。

・利益

- 比較的高い利益率の建設用資機材の売上高の増加および採算改善、コロナ下での経費減により、利益額・利益率ともに非常に高い水準。
- 上述の売上高の動向により、2Q以降は幾分進捗は落ちる可能性あり。

サマリー

親会社株主帰属四半期純利益等により純資産増加、自己資本比率・D/Eレシオ改善。

(単位：百万円)

資産			負債		
2021年 3月末	2021年 6月末	増減	2021年 3月末	2021年 6月末	増減
23,613	22,687	(主な内訳)	14,805	13,536	(主な内訳)
		△998 受取手形、売掛金及び契約資産			△348 支払手形及び買掛金
		+420 電子記録債権			△366 電子記録債務
		△341 仕掛品			△330 その他流動負債
		△121 その他流動資産	△1,269		
		純資産			
23,613	22,687	+305 投資有価証券	2021年 3月末	2021年 6月末	増減
		△159 その他投資	8,807	9,151	(主な内訳)
					+358 親会社株式帰属四半期純利益
					△300 株主配当金支払い
					+212 有価証券評価差額金
		△925			+343

	2021年3月末	2021年6月末	増減
運転資本 (百万円)	4,770	4,681	△88
有利子負債 (百万円)	5,583	5,554	△28
純資産 (百万円)	8,807	9,151	+343
自己資本比率 (%)	37.2	40.2	+3.0
D/Eレシオ (倍)	0.64	0.61	△0.03

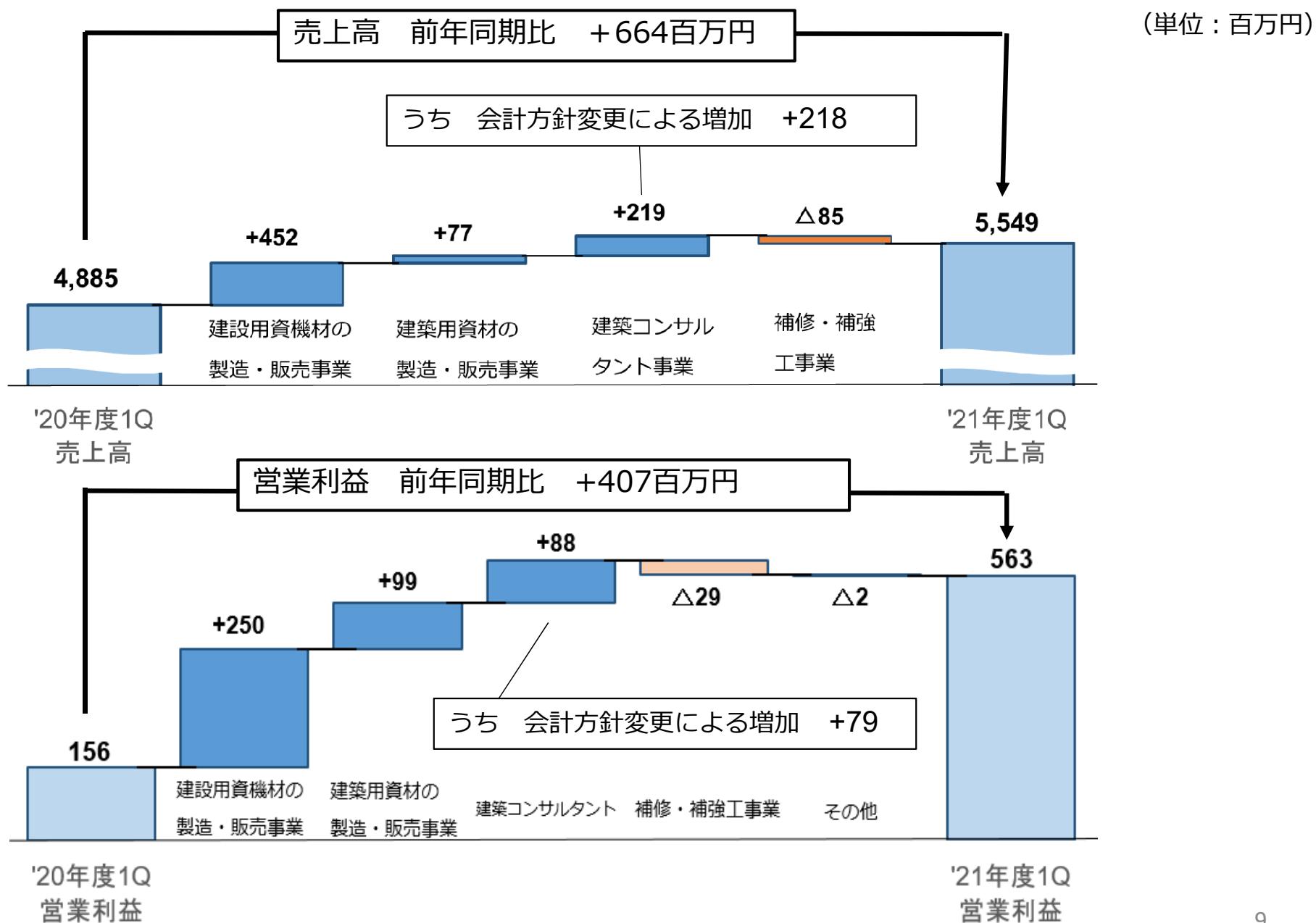
【会計方針変更による増減額】（単位：百万円）

総資産		負債	
	(主要因)		(主要因)
△256	仕掛品	△381	前受金
		純資産	
			(主要因)
		+124	利益準備金

1. 2021年度第1四半期 連結決算実績

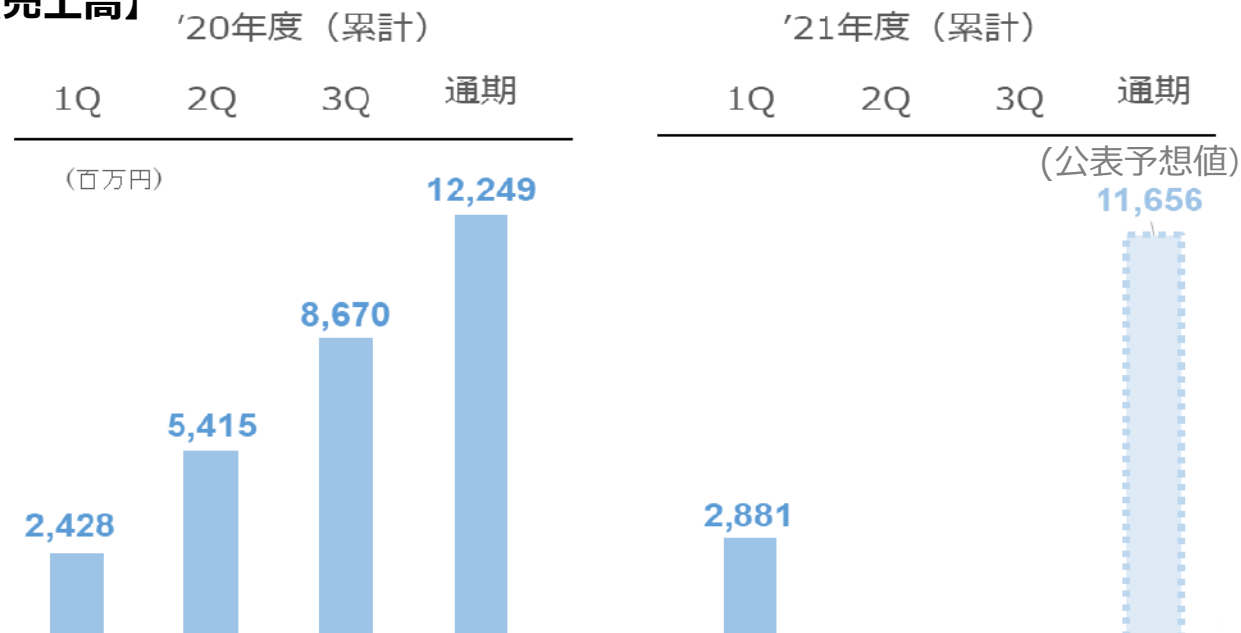
2. セグメント別の状況

セグメント別増減（前年同期比）



建設用資機材の製造・販売事業

【売上高】



○前年同期比～増収大幅増益

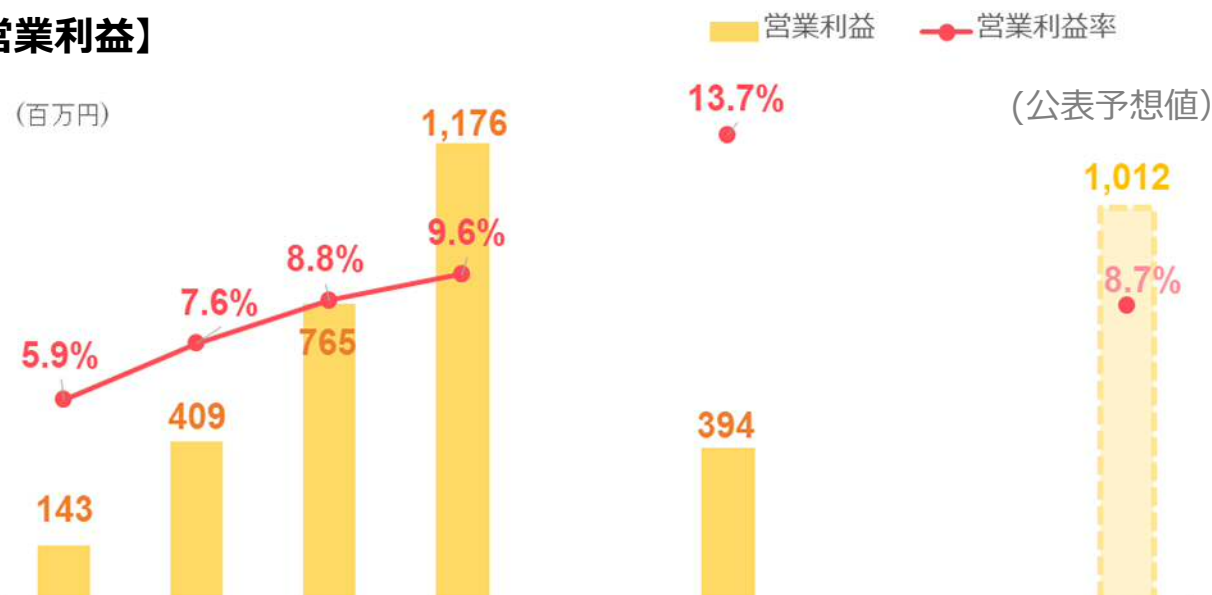
・売上高

- 落橋防止装置等橋梁耐震補強製品の販売、コンクリート製品分野での河川災害用ブロック等の販売が好調。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外向け資材販売が引続き低調だったものの、全体では前年同期比+18.7%の増収。

・利益

- 増収効果、利益率の高い製品の割合が増加したことにより前年同期比+174.8%の大幅増益を達成。

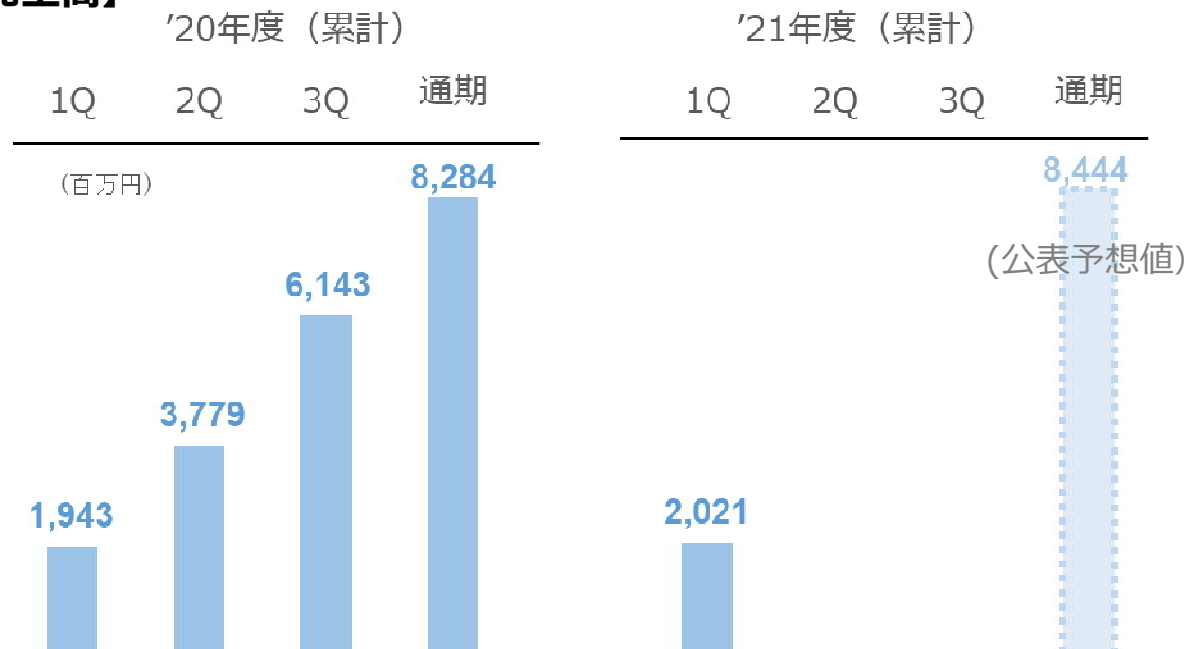
【営業利益】



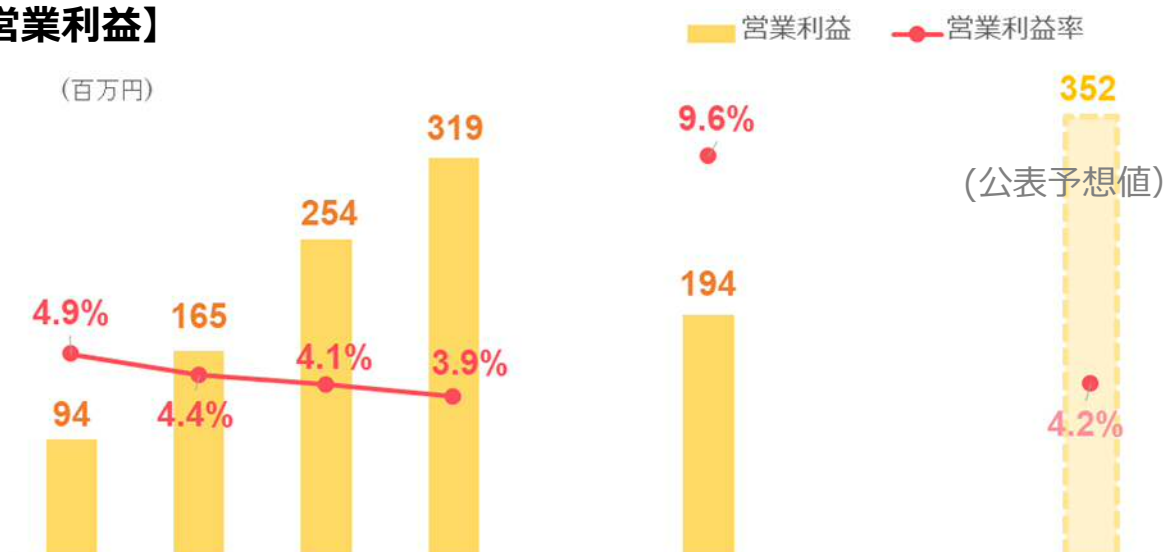
○公表予想比～好調を維持、引続き採算改善・経費節減に注力

- 海外向け以外は好調を維持。但し、1Qに大型物件の前倒し納入があったため、2Q以降は幾分進捗は落ちる可能性あり。

【売上高】



【営業利益】



○前年同期比～増収増益

・売上高

- 建築金物分野において、新型コロナウイルス感染症の影響により内装関連工事が激減、吊りボルト等の売上が例年に比べ大きく落ち込んだ状況が継続。
- 鉄骨工事分野は、新型コロナウイルス感染症による落込みからは回復基調。全体では、前年同期比+4.0%の増収となった。

・利益

- 採算改善に注力したこと、鉄骨工事分野での増収効果等により、前年同期比+104.8%の大幅増益。

○公表予想比

- 建築金物分野は新型コロナウイルス感染症の影響による落込みからの回復は期待できず、利益重視の対応を継続。

【売上高】

'20年度（累計）

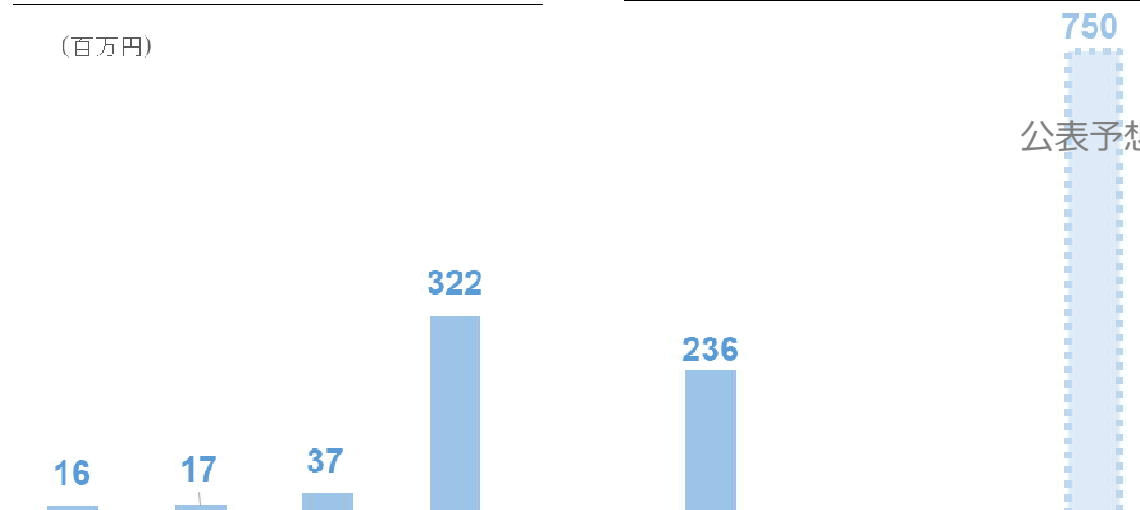
'21年度（累計）

1Q 2Q 3Q 通期

1Q 2Q 3Q 通期

（百万円）

750
公表予想値



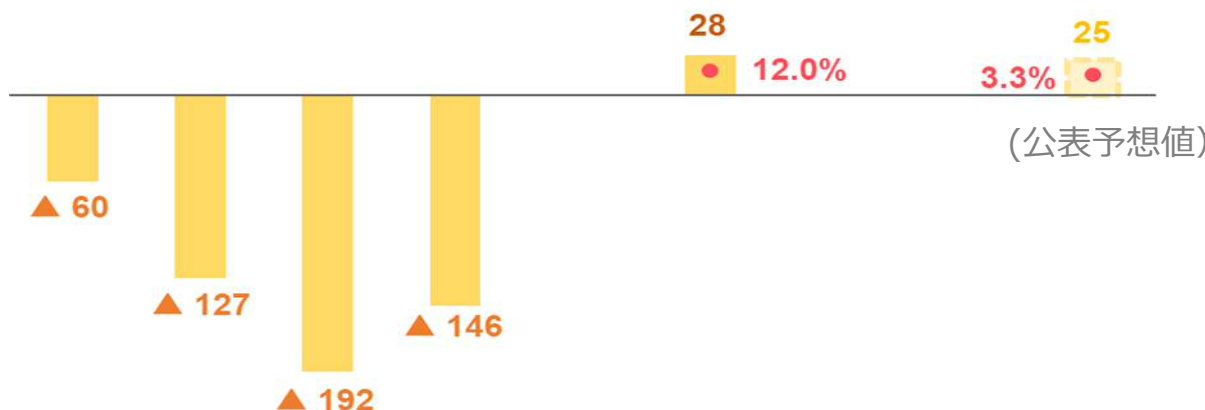
【営業利益】

（百万円）

営業利益 営業利益率

28 25
● 12.0% ● 3.3%

（公表予想値）



○前年同期比～増収増益だが、ほとんどが会計方針変更によるもの

・売上高・利益

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、海外現地活動の中断が継続しており、厳しいビジネス環境は変わらず。
- 増収増益となっているが、ほとんどが、会計方針変更（増加額のうち、売上高+218百万円、営業利益+79百万円）によるもの。

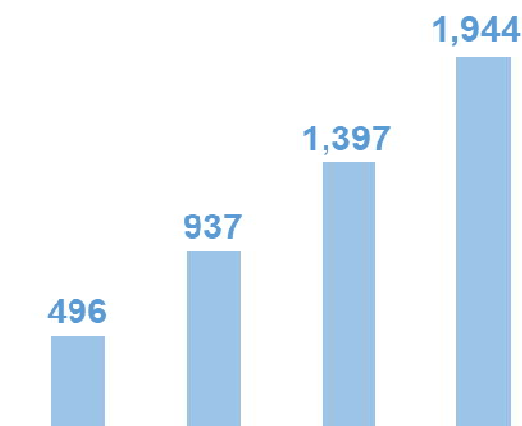
○公表予想比

- 受注残高は十分あり、案件の進捗により、公表予想値は十分達成可能な状況であるが、今後も新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が懸念される状況には変わらない。

【売上高】 '20年度（累計）

1Q 2Q 3Q 通期

(百万円)



'21年度（累計）

1Q 2Q 3Q 通期

2,150
(公表予想値)

411

○前年同期比～減収減益

・売上高

- 期初受注残は前年同期比を上回っているが、繰越した大型元請案件に優先的に人員を割り当てて対応しているため、受注案件の消化率が低下。前年同期比△17.3%の減収。

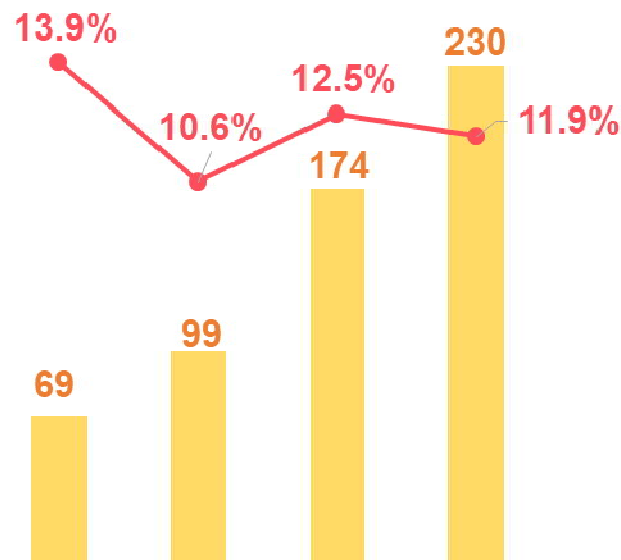
・利益

- 利益率の比較的高い案件が2Q以降にずれ込んでいるため、利益率も低下。前年同期比△42.2%の減益となった。

【営業利益】

(百万円)

■ 営業利益 ● 営業利益率



○公表予想比

209
(公表予想値)

9.7%

9.7%

- 受注環境は引続き良好で、売上高・利益ともに基本は堅調だが、工期と人員配置により、受注・売上も影響を受ける状況。
- 効率的な配置と受注消化に注力し、公表予想値は確保する見通し。

将来見通しに関する記述についての詳細〔ご参考〕

当資料は、あくまで株式会社エスイーをより深く理解していただくためのものであり、当資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている当社の分析、業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点で入手可能な情報に基づく見解や将来の業績に係る見通しであります。これらは現時点で入手可能な情報に基づき株式会社エスイーの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの分析・業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

International Engineering Maker

